

## PowerARRAY(パワーアレイ) 新製品

¥120,000 (税別)



Chord Company (Chord 社)では各種インターコネクトケーブル、電源ケーブルそしてスピーカーケーブルでは唯一、フラッグシップの ChordMusic に ARAY テクノロジーを搭載しています。このテクノロジーはケーブルの音楽的パフォーマンスを飛躍的に向上させる Chord 社だけの独自のものです。

この技術はフラッグシップモデルのみに採用されていたものですが、その後オリジナルの TunedARRAY から高性能のスーパーARRAY、そしてよりシンプルな ARAY へと複数の仕様に発展してまいりました。

さて現代のオーディオシーンにおいて音質上、最も大きな課題となっているのが、高周波ノイズによって起きるあまりにも大きな音質上のダメージです。

Chord 社ではケーブルのシグナルアースに混入する高周波(HF)ノイズを最小限に抑えるために研究を重ねて参りました。それは HF ノイズがたとえ微小であってもオーディオサーキットには多大な影響を及ぼし、音楽的パフォーマンスを損なう大変有害なものだからです。

また、この高周波ノイズの影響はケーブルのみにとどまらず、オーディオ機器全体にいろいろな形で影響しているものです。

実際に弊社の研究でも HF ノイズ対策に最もすぐれた ChordMusic シリーズが開発され、システムに採用された段階でも依然として、オーディオ機器内部に有害な HF ノイズの存在が見られました。この事から新たにオーディオ機器内部の素子自体が音楽の再生中、同時に自らノイズを発生してしまっているのではないかと疑問に至りました。特にデジタル系機器ではそれから発生するノイズが信号アースラインに乗り、デジタル回路、アナログ回路の両方に伝わり音質上、多大な影響を及ぼしていると考えられました。

## GroundARAY(グラウンドアレイ/ 2019.11. 発表)

その様な事象から、私たちは機器内部で発生した高周波ノイズを減衰させる ARAY 技術 (GroundARAY)を開発いたしました。

これは機器の空き端子(出力や入力)に接続して使用するものですが、アースラインにのみ働きかける構造となっており、音楽的に影響を起ししやすい一般的なノイズフィルタのような信号経路に負荷として介在するのではなく、ストレートでシンプルな構成のものです。

信号アースライン上の高周波ノイズは特殊な ARAY に導かれ熱へと変換、消去されます。2019年秋に発表された GroundARAY(グラウンドアレイ)はこのような着想から誕生したものです。

その効果は著しく追加で複数の機器に使用することでより一層、パフォーマンスの向上が得られました。

## PowerARAY(パワーアレイ/ 2020.11. 発表)

如何なるオーディオシステムでも基本性能を最大限に引き出すためには、電源の純度が最も重要であることは周知の事です。

多くの音楽愛好家はシステムのために可能な限り優れた電源を供給しようと、電源フィルタとジェネレータ(発電機)の導入を検討、経験して来られたでしょう。これらのデバイスは、供給電源(電力会社からの電源)とシステムの間に介在することで、最終的なパフォーマンスの優劣に大きな影響を与えてしまいます。システムの容量に見合った十分な性能を発揮させるには非常に大きなコストも要求することとなります。

Chord 社に於いても電源の本質を改善するために私たちの技術で何ができるのか？非常に興味を持ってこの問題に取り組んできました。

その成果がこの度、発表されました PowerARAY(パワーアレイ)です。

ARAY 技術を発展させた電源専用の ARAY テクノロジーにより GroudARAY 同様、各端子に並列接続されるため PowerARAY(パワーアレイ)はシステムと供給電源の間に介在しないため弊害や悪影響がなく、効果的にノイズだけを減衰させ音質を大きく改善させます。

PowerARAY 自体は一切の電流動作や回路を持ちません。つまり供給電源は ARAY デバイスを經由せず直接、家庭電源から機器に供給されます。これは電源にとってノイズさえなければ最も理想的なカタチであり、最大電流や瞬間レスポンスの制限、電源インピーダンスの変動などによる音質劣化を起しません。

使用方法は壁コンセントや電源タップの空きソケットに接続するだけです。テーブルタップを使用している場合は電源入口に最も近いソケットに差し込みます。なお ARAY 素子は厳選された電源プラグの内部に収められています。

GroundARAY と PowerARAY の基本原理は同じですが、実際には全く異なる電圧の状況で動作しています。GroundARAY はオーディオ信号レベルの極めて静かな状況で微小なノイズだけをキャッチしようとしています。一方 PowerARAY は高電圧環境で

より高いノイズレベルに対応するように設計されました。

GroundARRAY、PowerARRAY の内部素子はマイクロフォニックノイズを抑えるため、すみずみまで硬質樹脂を充填、極めて強固な構造となっています。

また超広帯域特性を備えたタイロン絶縁システム(ChordMusic ケーブル等に採用)と多層シールドを施すことで音質だけでなく安全性でも最高レベルの配慮がなされています。

アンダンテラルゴ (株)  
フリーダイヤル: 0120-77-3412

2020. 11. 16